

**SSKP** 船橋障害者自立生活センター

2017年8月

# うえいぶニュース



〒273-0004 船橋市南本町8-25 ラックス船橋 TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565  
URL：http://www.cil-funabashi.org/ E-Mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org

## 2017年度定期総会を終えて

当法人の2017年度定期総会が6月25日に船橋市海神公民館で開かれました。

当日は、全正会員数74名のうち出席者が13名、委任状が34通で合計47名となりまして、総会の成立が宣言されました。議事に先立って今回の事務所移転に伴って、今までの事務所のオーナーで長い間お世話になった花島美智子様と新しい事務所の改造工事にご尽力いただいた株式会社デザインキューブ代表取締役の伊集院俊様のお二人に感謝状を贈呈しました。

議事の中では、2017年度の事業計画や予算書などについて議論が行われ、活動の在り方なども含めて引き続き理事会などで協議を続けることとなりました。

終了後、新装なった事務所に移動してお披露目を兼ねた茶話会を行いました。

新しい事務所にふさわしい新鮮味のある活動を目指していきたいと考えていますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

## 事務所を移転しました！！

2001年6月から16年間の長きにわたり、活動拠点としてきた花島ビルに別れを告げて、新拠点のラックス船橋にこの5月22日、無事移転しました。

花島ビルでの思い出を辿ると、NP0法人化に始まり、介助事業を始めたこと、そしてケア・ネット船橋に継承したこと、市町村障害者生活支援事業や障害者福祉作業所の開設、一般および特定相談支援事業所の開設などがあります。それらに勝って多くの人々との出会いがありました。それぞれが与えられた役割を担い、船橋障害者自立生活センターの運営にご協力戴きました。心から感謝致します。オーナーの花島ご夫妻には夜間の守りを中心に、至らない私たちを見守って下さいました。巣立って行かれた方々、お年を召されて去られた方々、今も変わらず活動を続けて下さる方々、あの方この方のお顔が浮かびます。

ラックス船橋での活動がスタートしました。"古きは既に過ぎ去り、全てが新しくなりたり。"古今の名言にあるように、RC造のビル1階を改装した明るい事務所、天下の千葉街道（R14）に面し、隣は船橋中央郵便局という好立地です。ビルオーナーも地元で長く畳店を営まれる方で、改装時から行き届いたご配慮を戴いています。器は新しくなりましたが、肝心なのは中身が新しくされなければなりません。スタッフ一同心を引き締めて作戦を立てつつあります。既存事業の相

談支援事業所のケアマネ業務および作業所の日中活動支援も障害者スタッフを中心に他の事業所と一味違うものとしなければなりません。当然のことながら障害者運動にも力を入れて、障害者が社会の波の中に呑み込まれないように光を掲げ続けなければなりません。

私たちの、古き友から最近の友に至るご支援者には、お元気で、設立三十周年まで引き続き宜しくお願い致します。（文責：田尾）

### 船橋障害者自立生活センター新事務所



〒273-0004 千葉県船橋市南本町 8-25  
ラックス船橋

- ・ JR 船橋駅南口より約 1300 メートル
- ・ 京成船橋駅より約 1200 メートル

## 2016年度フィールドトリップ 南房総バス旅行の感想

3月にバスをチャーターして南房総市まで行ってまいりました。その際の参加された皆様の感想文を抜粋して記載させていただきます。当日参加された皆様には改めて感謝いたします。

3月17日、南房総市と海ほたるに皆さんと行ってきました。体調がいまいちでバスの振動が余計にきつかったけど、皆さんのおかげで、行くことができました。イチゴ狩りでは、いろいろな種類の苺を食べ比べたり、お花畑の前で集合写真を撮ることもしましたし、インターチェンジで、皆さんの中には、お土産をたくさんお買い物もする人もいました。お昼は、海が近いのでお刺身を食べたりしました。少し休憩をはさんで、そのあとにバスで移動し、海ほたるに行きました。海をバックに写真を撮ったりしている人もいれば、海をバックにいろいろなお話をしている人もいたり、海ほたるの中を探索、買い物をする人もいました。帰りのバスのなかでは、音楽を聴きながら、窓の外を見上げると、雲が黒かったので帰りに雨が降るのかと思いましたが、降らなくてよかったです。体調がいまいちのなか、体の痛みもありましたが皆さんに支えてもらいながら、自分なりに1日、楽しむことができたと思います。

佐々木玲由

初めてウェイブ船橋さんからの誘いで、南房総バス旅行に参加させていただきました。大きくて甘いイチゴをお腹いっぱい食べられて良かったです。昼食の海鮮料理も、苦手な骨のある魚がなかったうえに、全部とっても新鮮で美味しく、満足しました。網焼きも、ちょっとやってみたかったです。

海ほたるは、天気良くて景色がよく見渡せ、気分爽快になりました。

初めての参加だったので不安でしたが、皆さん優しく声を掛けて下さり、お話しできたので、嬉しかったです。

T・O

- ・朝8時半なのに日々の緊張から解放されバスに乗るとすぐ眠くなった
- ・足湯に入れて嬉しかった。
- ・小さな水族館が良かった。特にヒラメが目玉を動かしていたのが面白かった。
- ・おおつの里で買った花は、部屋中花の香でいっぱいになった。
- ・みちの駅とみうらは、花壇の花は綺麗だったが野に咲いている菜の花も見事でした。
- ・海ほたるの景色がよかった。
- ・昼食がおいしかった。
- ・参加費が安かったのでお土産がたくさん買えた。
- ・次回も必ず参加したいと思います。

飯泉孝雄・飯泉弥生・ヘルパー

去る3月の日に、かねてから企画をしていた南房総バス旅行を実行、参加することができました。心配していたお天気も良好で、現地ではおいしい空気と自然を満喫しました。

特に菜の花畑や桜の小道を車いすの方も一緒に歩いたことや、メインのいちご狩りの体験、食べ比べは、とても印象深いです。トイレ休憩の時間も資料館を見学、食事の後のお土産の買い物等、盛沢山でした。私付き添った方〇〇さんは、生まれが房総半島、妹さんに会いたいと参加されました。妹さんとの面会もかない、楽しみとしていた、フラワーパークでブーゲンビリアを見ることと、海ボタル見学もできて喜ばれていました。記念写真もたくさん撮られました。後日、参加した方に感想やお礼状をたくさん頂き、こちらこそ感謝です。障害を持っていると、家にこもりがちだったり人はどこかへ行く機会があまりないので目的をもってみんなと出かけるフィールドトリップはとても良い企画だと思いました。ありがとうございました。

職員 N・K

今回、バス旅行に参加させて頂きました。私自身、房総は色々知ってはいたものの、今回は物凄く久しぶりに色々な場所へ行き、また知らなかった場所などもあり、皆様とご一緒出来て見慣れている風景でも、とても新鮮な気持ちになりました。いちご狩りも久しぶりに行い、種類もあり、それぞれと味が違い、普段食べ比べなど出来ないのですが、今回は味比べができました。とても美味しかったです。以前にボランティア活動で行ったのですが、ゆっくりといちごを食べる事は出来なかったのですが今回は、ゆっくりと頂きました。

滞在時間はそれぞれ短かったのですが、楽しく過ごすことが出来ました。参加して頂いた皆様が笑顔になられている事を非常に嬉しく思い、また旅行をするには良い時期ではないかと思いました。参加人数は少なめが、今後は参加される方を増やしていけたら良いと思っております。

指導員として、皆さんが楽しんで頂けたか、また、意見などがあつたら、反省点として今後の活動がより良いものになるようにしていきたいと思っております。

職員 H・K

朝は寒かったが、メインの苺狩りをする頃には、とても暖かくなった。苺は、とてもおいしかった。

ただ、盛沢山で色々な道の駅に行ったので、それぞれの所での滞在時間が少なく、ひとつひとつの所をもう少しゆっくり見学したかった。ピワのソフトクリームが食べたかったのに～。残念！！

今度このような旅行があつた時には、「上野」に行くのはどうだろうか。「動物園コース」「美術館コース」「アメ横買い物コース」などに上野公園に着いたら、別れて、決められた時間までに戻るといような形で・・・。

次回のフィールド・トリップ楽しみにしています。

杉井みどり



今回の旅行を配慮して下さった方々に厚くお礼申し上げます。4年前迄は、バス旅行が好きでよく出かけましたが、2014年、脊柱管狭窄になり、歩行不自由になり、旅行は出かけていなかったのが、今回の参加はとても楽しかったです。車いすでの参加は初めてなので不慣れではありましたが、とても楽しかったです。押し下さる方がとてもよく面倒を見て下さりありがとうございました。自力で歩けない者にとっては、転んだりつまづくことなく、他の方にも感謝、喜びが大きかったと思います。

バスの中からの自然、景色を興味深くながめていました。ポーッとみえていたり、自分の生活のことを考えたりするのが、バス旅行では習慣になっています。海をみられたことはありがたかったです。春の海らしく澄んだ青色でおだやかに輝いていました。

参加された方の一人でもと話しがしたかったのですが、できず残念でした。食事中、お箸を落としてしまい、車いすのため拾いづらかったのですが、隣の方がお箸をとりに行っていました。小さな親切が私には感銘でした。何か、今迄接してきた社会と少しちがうのではないかと……。親切な方が多いのでは……。と。

私は病気が8つ位あります。通院疲れや症状が強く出ると、ふだん我慢しているので腹ただしくなります。通院は週に2回で、月に8回は負担が大きく辛いです。通院の軽減等を相談したく、そのうち医師のところへ行く予定です。第一に、自分の心と体を楽にしなくてはと思います。余裕ができたら体力の回復、リハビリとかありますが、「心の幸福」が欲しいです。これは、本を読み同感しました。また、昨年10月、40年間、私を助けてくれたバイクに乗るのをやめました。生活も大きく変わり、不自由の増大、タクシーによる経済の負担など常に出てきて、今、医療と交通の便の不自由さを抱えて改善を考えています。

20分位は杖をつき、3回位しゃがんで休み、歩きますが、人並みに歩けなくて、この三年間悲しい思いをしています。足が不自由でもそれなりに受容して、それなりの生活をよく生きたいと思います。

人並みに歩けなくて、私は弱者なのだろうかと考えるのですが、「そんな筈はない。人間に強者、弱者、勝ち負け、上下などない、皆それぞれ与えられた条件、環境の中でプライドをもって生活しているのだ」と思います。上下はない。平等なのだと思います。私もこの厳しい条件の中から、模索し、もう少し楽な生活をして（通院の軽減）おだやかに暮らしたいと、今日の旅行で感じました。旅行を働きかけて下さった方々のお陰で楽に一日を過ごさせていただきありがとうございました。

追記

- ・ビンゴゲームは初めてで新鮮でした。
- ・寄る所が多く、一か所休んでいました。

酒井美恵子

久しぶりに南房総バス旅行は、天気もよくとても楽しかった。30分のいちご食べ放題では、3種類全て美味しく、食べ過ぎました。ただ、練乳のおかわり自由が欲しかった。

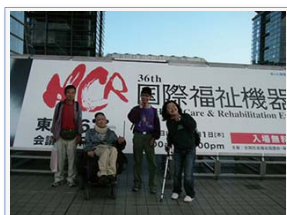
新鮮な魚介類や採れたて野菜の料理や漁師汁も満足できました。帰りの海ほたるでの夕陽が美しかった。参加者とのコミュニケーションも取れ、満足のいく旅行でした。

職員・ヘルパー 佐々木義次

# 2017年度フィールドトリップ ～国際福祉機器展へ行こう！！～

当センターでは2016年度から「みんなで外に出かけよう！！」を合言葉に、普段同じ地域にいても交流を持つことの少ない障害のある人たちが集まって「行きたいところに行こうよ。」「交流の場にしようよ。」という事業「フィールドトリップ」を立ち上げました。2016年度は12月に「アンデルセン公園」、年を跨いで3月に「千葉県南房総」にバスをチャーターして実行しました。

今年度は国際福祉機器展（通称：HCR）の見学・体験を中心に、「スカイツリー」、有明にある「虹の下水道館」へバスをチャーターして行きます。普段の生活で不便を感じている場面を国際福祉機器展に行けば、新たな発見があると思われます。



▲国際福祉機器展



▲国際福祉機器展



▲国際福祉機器展



▲国際福祉機器展



▲スカイツリー



▲スカイツリー展望台



▲虹の下水道館



▲食事処 つぎじ魚惣

## 募集要項

- ☆ 定員先着 30名 募集期間は9月15日までとなります。
- ☆ 募集対象は、障害があり、自分で介助してほしい内容を表現できること。  
介助の必要な方は自分で連れてくるか、当センターに相談して下さい。
- ☆ 集合場所までの交通費および自由行動時間中の飲食費は自己負担をお願いします。
- ☆ 障害者手帳をお持ちの方は、必ずコピーまたは原本をお持ちください。

ともかく少しでも気になったそのあなた、まずはチラシを見て応募して下さいね。

**電話、FAX、Eメールで今すぐ応募！！**

私がまだ子どもだった頃

## その1. 消えた大家さん

宮尾おさむ

そのころ私は、東京の下町で、家族と一緒に貧しい長屋暮らしをしていました。表通りから路地を左に入り、すぐ又左に曲がって、今度は右に曲がった左側にその長屋がありました。私たちはその4軒長屋の3軒めに住んでいたのですが、左は私が人生の最初に友達になったK夫の家で、右隣は機織りが仕事のニシザキさんという人、そのまた右にはトネガワさんという夫婦の人が住んでいました。

この夫婦には奇妙なところがあって、ご主人が寝たきりとかで姿を見た人が誰もいなかったようでした。子供だったこともあり、詳しいことはわかりませんでした。母などがおしゃべりしているのを聞いていると、ご主人は脳卒中を病んでいるため、奥さんが大家さんの役目についているということでした。

これも母の話を聞いて知ったことですが、奥さんはご主人が寝たきりになる前、この長屋の持ち主から頼まれた貸家人から毎月の家賃を徴収する仕事をやっていただけのようです。月末になると徴収に奥さんはやってきましたが、「きれいな人だね」といつも母は言っていました。母によると竹久夢二の絵のような美人だというのですが、わたしにはもちろんわかりませんでした。それよりも3日に一度くらい聞こえてくるご主人の野獣のような声の方が遥かに不気味だったのです。

家の向こうから伝わってくる声は、後で知ったのですが奥さんに怒鳴っている声でした。母が聞かされた話では、ご主人が要求することに奥さんが応えなかった時などが多かったということです。「私にもいろいろ都合がありますからね」と奥さんは涙ながらに話したそうですが、もちろんそんなことが当時の私にわかるはずもありません。ただ覚えているのは、トネガワさんのその野獣の声が聞こえてくるのは、昼間よりも夜が多かったことです。おお、おおうという声は、時に泣いているように聞こえることがありました。

それからしばらくした頃です。

「ごめんください」と玄関を開けて、三十年輩の男性が突然訪ねてきました。何事かと聞いていると、この男性はトネガワさんのご主人の知り合いで、房州（千葉県南部）で旅館をやっている人がいる。今度そこにご主人を連れていくことになったので、しばらく留守をするご挨拶に来ましたということです。相手をした母は「それはよかったですね。」と応じていましたが、男性が帰ると「寝たきりの人をどうやって運ぶのだろう」と首をひねっていました。

それからまたしばらく過ぎたある朝のこと。何やら騒がしいので母が出てみると、路地の入口に警察の車が止まっています。さらにその車のドアのところで、トネガワさんの奥さんが警察の人につかまっているので、「びっくりしたよ」と母が言ったのを覚えています。

この事件は翌日の新聞に載りました。それによると主犯が奥さんで、共犯は奥さんの恋人。それが例の男性だったので、またまたびっくりです。「やっぱり若いツバメがほしかったのかねえ」と母が言いましたが、子供の私にわかるはずがありません。仕方ないからにやにやしていました。

ところが、不思議なことには無人になったはずのトネガワさんの家に、人の気配がするというのです。家の前を通ると中から声がする、という人。明かりがついている、などいろいろでしたが、警察が何も発表しなかったこともあってしばらくうわさが続きました。

あれはもう冬の季節になった頃です。勤め帰りの父がいつもの路地に入り、トネガワ宅の前まで来ると、突然、ガラッと玄関があいて、父が振り向くと人間の影の様なものが、そこから又ウツと現れ、「こんばんは」といったそうです。

驚いた父は、返事もできずに自分の家に駆けこんできましたが、家についてからも肩で呼吸をしていました。

アメリカの重爆撃機による空襲が本格化したのはそれから間もなくです。

終

## WAVE のうごき

### 2月

2日（木） 自立支援協議会  
14日（火） 認定審査会  
28日（火） 相談室移転準備

### 3月

4日（土） 講演会  
8日（水） サービス担当者会議  
10日（金） 職員会議  
11日（土） 法人理事会  
17日（金） フィールドトリップ（バス旅行）  
22日（水） 船橋福祉相談協議会理事会  
24日（金） FAS-net 例会

### 4月

5日（水） 認定審査会全体会  
19日（水） 出張ピアカン  
24日（月） 事務日

### 5月

12日（金） 移転作業  
？  
22日（月） 移転作業  
14日（日） 障定協総会  
16日（火） 船橋福祉相談協議会総会  
20日（土） 障害福祉団体連絡協議会総会  
23日（火） 事務日  
24日（水） FAS-net 総会

### 6月

17日（土） 理事会  
23日（金） 事務日  
25日（日） 定期総会

### 7月

8日（土） 障害福祉団体連絡協議会  
21日（金） 事務日

### 8月

2日（水） 地域移行・福祉サービス部会  
22日（火） 認定審査会

## 会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただけていない方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員が3,000円、賛助会員が5,000円、団体が10,000円となっております。

同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパなどを送っていただく際に、便利なように同封したものです。

なお、納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

2016年度第二回目のフィールドトリップは南房総へバスをチャーターして行って参りました。イチゴ狩り・花摘み（花見学）を体験して、参加者全員でお昼を食べ、帰りには「海ほたる」へ寄り、絶景を眺めて来ました。天気の方も晴れていて、概ね良好だったと思います。ただ若干名、途中で体調が悪くなる参加者もいましたので、そういった方たちへのケアなどと色々と課題が残る旅行でした。言い訳になってしまいますが、始めたばかりの事業なので、色々と手探りなところがあり参加者に十分なフォローが出来ていないため、大変申し訳なく思っております。ですが、改善に努めてまいりますのでこれからも船橋障害者自立生活センターをよろしく願います。最後になりますが、今回参加された方々ありがとうございました。

職員・小松直勝

## カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。

厚くお礼申し上げます。（順不同）

安達マツ子様 田尾幸三様

池澤革様 石崎明様

瀧見様

発行所 東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
ヴェルドゥーラ祖師谷102号室  
障害者団体定期刊行物協会

頒価 100円

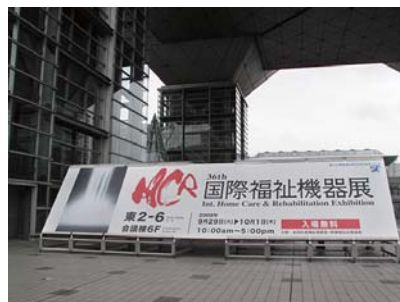


# 2017 フィールドトリップ 国際福祉機器展 東京スカイツリー



当センターでは2016年度から「みんなで外に出かけよう!!」を合言葉に、普段同じ地域にいても交流を持つことの少ない障害のある人たちが集まって「行きたいところに行こうよ」「交流の場にしようよ」という事業、「フィールドトリップ」を立ち上げました。2016年度は12月に「アンデルセン公園」、年を跨いで3月に「千葉県南房総」にバスをチャーターして実行しました。

今年度は国際福祉機器展(通称:HCR)の見学・体験を中心に「スカイツリー」、有明にある「虹の下水道館」へバスをチャーターして行きます。普段の生活で不便を感じている場面も国際福祉機器展に行けば新たな発見があると思われれます。



## 日時 2017年9月28日(木)

※申込締切日:2017年9月15日(金)必着(申し込み後のキャンセルはお控えください。)

★集合場所・時間: **船橋市役所前 8時30分**

★参加料金: **3,000円** ※介助者がいる場合は、ご本人と介助者一名は半額になります。

※定員:先着30名

※募集対象:障害があり、自分で介助してほしい内容を表現できること。

介助の必要な方は自分で連れてくるか、当センターに相談して下さい。

※集合場所までの交通費および自由行動時間中の飲食費は自己負担でお願いします。

※障害者手帳をお持ちの方は必ず持参してください。

船橋障害者自立生活センター

〒273-0004 千葉県船橋市南本町8-25

ラックス船橋



予約・お問い合わせ

**047-432-4554**

E-mail: [cil-funabashi@cil-funabashi.org](mailto:cil-funabashi@cil-funabashi.org)

参加ご希望の方は裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上9月15日までに申し込みください。なお、ご家族やお友達と一緒に参加される場合、お一人様一枚の申込用紙が必要になりますので、その場合はコピーしてお使いください。

# 南房総バス旅行参加申込用紙

氏名		性別	男性・女性
住所			
電話番号と当日の連絡			
障害	有・無	障害者手帳	有・無
補装具	使用・不使用	補装具の詳細	
アレルギー	有・無	アレルギーの詳細	
介助者または付添人	有・無	人数	人
その他の 必要事項等			

## タイムテーブル

8:30 ~	船橋市役所集合
8:45 ~	船橋市役所出発
9:45 ~ 11:15	東京スカイツリー 到着・見学
11:45 ~ 12:15	虹の下水道館 到着・見学・昼食場への移動
12:15 ~ 13:15	魚総（昼食）
13:45 ~ 16:15	国際福祉機器展 到着・見学
17:00	船橋市役所 到着・解散

### ★注意事項

申し込み後のキャンセルは、行き先の予約等に影響しますので、やむを得ない理由以外は  
ご遠慮ください。

### 申込先

〒273-0004 千葉県船橋市南本町 8-25 ラックス船橋  
船橋障害者自立生活センター事務局（担当：杉井・小松）  
TEL：047-432-4554 FAX：047-432-4565  
ホームページ：<http://www.cil-funabashi.org/>  
E-mail：[cil-funabashi@cil-funabashi.org](mailto:cil-funabashi@cil-funabashi.org)